



西小だより
クイズ!

Q: 文科省が提唱する「生きる力」の3要素は、「豊かな人間性」、「健康と体力」、あと一つは、どれでしょう？

- A 確かな学力 B 伸び続ける学力 C しなやかな学力

ヒント: この「～学力」は、2003年の学習指導要領で初めて使われて以来、ずっと使われ続けています。

「学力」について、子どもと一緒に話し合いました

テーマは「子どもが自分の考えを分かりやすく伝えるために」でした。このようになるために、学校、保護者・地域、そして子ども自身が、それぞれの立場でどのようなことをするとよいかについて、学校運営協議会で話し合いました。

いずれのグループでも、また、学校、保護者・地域という大人の立場でも子どもの立場でも、共通して多く使われていたキーワードがありました。それは次の言葉です。



き く (聞く・聴く・訊く)

今回、教職員だけでなく、子どもから保護者・地域の方々までを含めた幅広いメンバーで協議を行った結果、**学ぶ上で最も重要と言われる「きく」ということにたどり着いた**わけです。これは、実に大きな成果だと思っています。ご参加いただいた皆様のおかげです。

「**よい聞き手がよい話し手を育てる**」とよく言います。この「きく」ことに重点を置いた取組を教職員で今一度確認し、進めてまいりたいと考えておりますが、まずは、本校を含め、西田布施地区の全員で、「**よい聞き手になることをめざす**」に取り組めると嬉しく思います。そうすることで、西田布施地区の宝である子どもたちの学力を共に支えていきましょう。お力添えをよろしくお願いいたします。

最後に、協議の際、皆さんからいただいた意見(それぞれで取り組むといいこと)で重なるの多かった方から3つをご紹介します。※実物は玄関に掲示しておりますのでご覧ください。

【学 校】 1 話し合いやすい雰囲気づくり 2 発表の機会を増やす 3 話したくなる授業づくり

【保護者】 1 話を最後まで聴く 2 話を聞く機会をつくる 3 きまりなどは話し合って決める

【地 域】 1 話しやすい雰囲気づくり 2 進んで声をかける 3 まず話を聴く

【子ども】 1 人の話をきちんと聴く 2 本を読む 3 伝わる声の大きさと話す